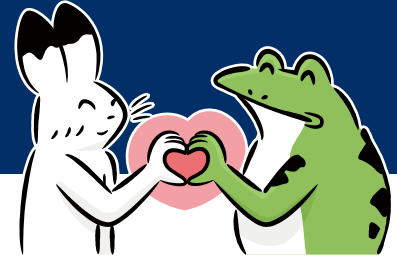


6/26  
(金)

# 災害時における 発災から生活支援までの 仕組みを知ろう

14:15 ~ 16:45



大規模災害が起こると、被災された方は自力での生活再建がとても大変です。被災自治体では、社会福祉協議会などに委託して生活支援相談員を設置して、被災者の生活支援のサポートをします。生活支援相談員の仕事から生活支援の仕組みをするとともに、どのように関わりを持てばよいのかを学びます。

多くの皆さんの参加をお待ちしています。

ごとう ゆき のり  
講師：後藤至功 さん

佛敎大学 専門職キャリアサポートセンター専任講師

場所：滋賀県立県民交流センター  
204 会議室

(大津市におの浜 1-1-20 ピアザ淡海)

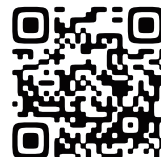
参加費：500 円 (資料代)

定員：30 名・要申込

対象：どなたでもご参加いただけます

申込先：しが NPO センター

スマホからのお申込みはこちらから→



主催：災害支援市民ネットワークしが

共催：認定特定非営利活動法人しが NPO センター、近畿労働金庫

後援：滋賀県生活協同組合連合会、滋賀県労働者福祉協議会

メール・FAX でのお申込みは裏へ

\*この事業は、近畿ろうきん NPO パートナーシップ制度における「<ろうきん>働く人と子どもの明日を応援プロジェクト 2026」により実施しています。

## ■災害支援市民ネットワークしがとは

滋賀における市民の災害対応力を高めるため、行政や社会福祉協議会等、さまざまな団体と連携し2013年4月に発足しました。

災害に対して普段からの活動を大切にしたいという思いから、年に数回こうした研究会を行っています。ネットワークに加入されていなくても、ご参加いただけます。事務局は、認定特定非営利活動法人しがNPOセンターが担っています。

〒523-0893

滋賀県近江八幡市桜宮町 207-3

K&Sビル 3F

<https://shiganpo.wixsite.com/website-1>

## ■後藤至功さん プロフィール

1995年阪神淡路大震災にて自宅が全壊被災し、避難所・仮設住宅・復興住宅を経験。その後、兵庫県社会福祉協議会、コラボねっとを経て2009年佛教大学へ。被災地支援活動は、台風9号水害、東日本大震災、茨城県常総市の水害、熊本地震・南阿蘇村、益城町、大阪北部地震、西日本豪雨災害、「医療的ケア児・者減災支援ネットワーク」、「コロナ対策・届けるプロジェクト」の組織化、九州豪雨災害・人吉市、球磨村への遠隔支援、「能登福祉救援ボランティアネットワーク」（共同代表）など。「社会福祉施設・事業所のBCP」（単著）、「ソーシャルワーカーのための災害福祉論」（共著）がある。

## ■滋賀県立県民交流センター (ピアザ淡海)

住所：滋賀県大津市におの浜 1-1-20

TEL：077-527-3315

アクセス：

- ・JR膳所駅から徒歩約12分
- ・京阪電車石場駅から徒歩約5分
- ・名神大津インターから約7分
- ・JR大津駅からタクシー約5分



## ■FAX・メールでの申込みフォーム

送信先 FAX 0748-34-3033 ・ メール [shiga.npo@gmail.com](mailto:shiga.npo@gmail.com)

○6月20日 災害支援市民ネットワークしが2026 第1回研究会 申込み

お名前 と フリガナ	
所属あるいはご住所	
ご自身の携帯電話番号	
メールアドレスか FAX	
*受付等のお知らせは、主にメールで行いますのでできるだけメールアドレスをご記入ください。	

## ■お問合せ先：電話 0748-34-3033

認定特定非営利活動法人 しがNPOセンター

※お申込みいただいた個人情報は、災害支援市民ネットワークしがの情報をお知らせするため以外には使用しません。